

価値創造モデル

FDKグループは、これまでの75年の歴史を通じて培ってきた人的資本や、製造資本を総合的に活用しながら多くの電池・電子製品を送り出してきました。そして、「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、「持続可能な社会への貢献」のため、FDKグループのあるべき姿、Visionを追求し続けてまいります。



INDEX

イントロダクション

FDKグループの価値創造ストーリー

▶ 価値創造モデル

FDKグループ戦略Framework「10年の計」

中期事業計画 「R1」の振り返り

中期事業計画 「R2」の三本柱／「R2」の進捗ハイライト

主力ビジネスの利益ある成長の加速

新規ビジネスの始動と開拓

認め合い・高め合う文化の醸成

サステナビリティ

財務情報

概要、グループ会社

*使用エネルギーは電気エネルギーを指します。再生可能エネルギーの割合には非化石証書の割合を含みます。

Vision 2029年のFDKの到達点

FDKグループは、Smart Energy Partnerとして、先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します。

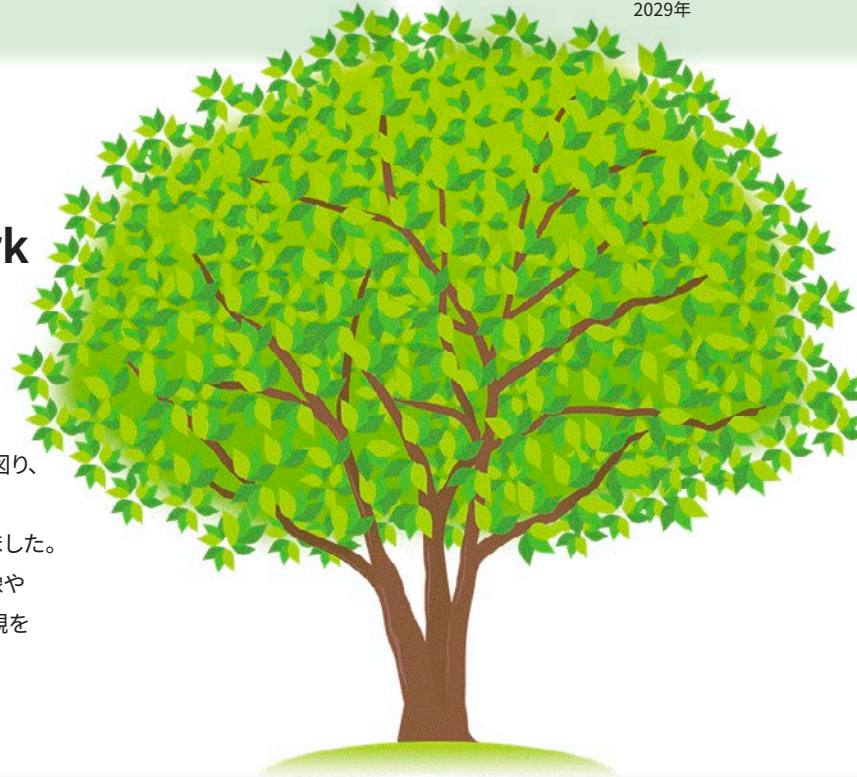
実現すべき企業像

あるべき姿 Visionが実現された状態の定義

- 誰に
人々の暮らしと社会を支える企業と個々のユーザーに
- 何を
クリーン且つ、安全な電気エネルギーを安定的に活用できるオファリングを届ける
(電池/ものづくり、次世代電池、パワーマネジメントソリューション)
- いつ
2029年

FDKグループ戦略Framework 「10年の計」

FDKグループは、さらなる経営体質強化と企業価値の向上を図り、様々なステークホルダーの方々の期待にお応えべく、2019年度にグループ戦略Framework「10年の計」を公表しました。「10年の計」では、2029年に当社グループが実現すべき企業像や実現へのロードマップ、計画実行にあたり大切にすべき価値観を定義しています。



十年之計 莫如樹木

十年の計は木を植えるに及ぶものはない(管子より)

And Game 計画実行にあたり大切にすべき、FDKの新しい文化

お客様の満足

and

従業員に対する責任

株主への約束

(すべてに應える)

社会への貢献

中期事業計画 Vision・あるべき姿を実現するためのロードマップ

R1
2020～2022

R2
2023～2025

R3
2026～2028

Contentsへ



INDEX

イントロダクション

FDKグループの価値創造ストーリー

価値創造モデル

▶ FDKグループ戦略Framework「10年の計」

中期事業計画 「R1」の振り返り

中期事業計画 「R2」の三本柱／
「R2」の進捗ハイライト

主力ビジネスの利益ある成長の加速

新規ビジネスの始動と開拓

認め合い・高め合う文化の醸成

サステナビリティ

財務情報

概要、グループ会社